

令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	12. 歴史的建造物保全整備事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額			
臨時	単独	計画	0	0	57,976	第4章 基本施策5 施策3	2,108			
							明日へつながるまちづくり	平成28年度	0	
							歴史・文化資産の保全・活用	平成29年度	0	
							歴史的文化資産の保全・活用	平成30年度	0	
							歴史的建造物を保全・整備します	平成31年度	0	
								令和2年度	2,108	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		1,125

財源内訳	一般財源
本年度当初要求額	0
本年度当初査定額	1,125

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・旧平井家住宅、旧今井家住宅の維持管理、修繕 ・旧吉田玉照堂報告書印刷 ・登録有形文化財制度リーフレット配布 ・市内歴史的建造物調査委託 ・旧川崎銀行佐倉支店修理報告書の刊行</p>	<p>(事業の目的) ・歴史的建造物の保存整備に欠かすことのできない基礎資料の蓄積を図ります。 ・詳細調査を行うことにより文化財指定・登録につなげることが出来ます。 ・新町地区の商家住宅である旧平井家住宅、旧今井家住宅は城下町の歴史を伝える貴重な歴史的建造物です。この建物を保存と活用の両側面から保全・整備します。</p>	<p>(事業の効果) ・歴史的建造物の現況を把握し、今後の活用につなげることが出来ます。 ・新町通りなど、古い町並みの修理修景に際しては、原資料として価値あるものとなります。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・歴史的建造物の調査だけでなくその成果を報告書として刊行し情報を蓄積しておく必要があります。 ・旧平井家住宅・旧今井家住宅は本格的な活用整備工事の前に維持管理のための修繕が必要となってきます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 市内の歴史的建造物を総合的に保全・整備するために、関連事業を統合させて各業務を実施することとしました。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
10	1,125	0	1,125

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源										
	差引一般財源							0	1,125	0